

小林式誘引捕獲の普及

簡易・低コスト・捕獲効率の向上を目的に、従来の足くり罠の設置方法等の工夫を実施(和歌山森林管理署発信)

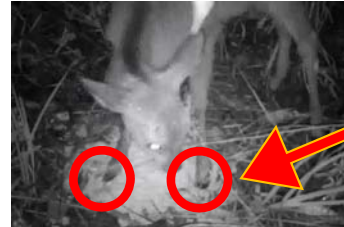
くくりわなによる捕獲の課題

これまでのくくり罠による捕獲は

- 設置には経験による特別な技術が必要
- シカの通り道を探して設置するため、林道から遠くなりがち
- 罠設置後いつシカがかかるかわからない
- シカが捕獲できるまで毎日見回り
- 捕獲した獣道での再捕獲はシカが警戒するので困難

小林式捕獲法は、これらの問題を解決しました

わなの設置の工夫



シカの行動を調査した結果

- 1 餌を食べる時の足の位置に着目
- 2 口の真横付近に足を置いて餌を食べることを確認



空はじきを防止するため、わなの周囲に障害物を置く



わな設置後、わなを中心にドーナツ状にハイキューブを撒いて完成

新たな捕獲手法の開発(小林式誘引捕獲：設置例)

1. 捕獲ポイントの選定
↓ 1日目
2. 給餌・・・ポイント選定と同時
↓ 1日目 (2～3日目は待機)
3. 採食状況の確認・・・給餌から4日後が目安
↓ 4日目
4. わな設置 (捕獲)・・・採食状況確認と同時
↓ 4日目
5. 見回り・止めさし・・・わな設置翌日から3日間連続
5～7日目

小林式誘引捕獲の取組

1 小林式誘引捕獲の取組

(右表 小林式誘引捕獲検証 参照)

(1) 岡山県津山市外において、岡山森林管理署が平成30年度事業から採用

※平成29年度は15頭捕獲(小林式ではない)

2 今後の取組

- (1) 平成30年度 和歌山署、岡山署で予定。
また、平成30年度内の捕獲事業において、
猟友会等の理解と協力を得ながら各署等で
実証的に取り組む
- (2) 小林式誘引捕獲を導入した署等において
は、捕獲効率等の検証を行い、更なる普及に
取り組む
- (3) 各種会議等で広く情報提供に取り組む

ポイント!

けもの道以外でもくり罠による捕獲が可能

⇒林道の周辺等アクセスしやすく設置が容易な箇所に

限定することで更に効率アップ

- ・設置時間短縮 (5分程度で設置可能)
- ・見回りが容易 (車両からの確認が可能)
- ・止めさし後の処理が容易 (個体の積み込み)

⇒同一罠での連続捕獲が可能

⇒人間には罠と分かるため安全

⇒短期集中で労力の削減

小林式誘引捕獲検証

これまでの岡山署の実績(津山市外)

	小林式くりわな(津山市)	小林式くりわな(美作市)
設置期間	H30.5.1~H30.6.22(53日間)	H30.7.31~H30.8.30(31日間)
設置基数	15基	29基
わな日数	673 わな日(実稼働)	438わな日(実稼働)
捕獲頭数	オス 7頭、メス 28頭、計 35頭	オス 6頭、メス 14頭、計 20頭
捕獲効率	0.052 頭/わな日(35頭/673わな日)	0.046 頭/わな日(20頭/438わな日)
捕獲効率(成獣メ)	0.042 頭/わな日(28頭/673わな日)	0.032 頭/わな日(14頭/438わな日)
錯誤捕獲	なし	なし
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・小林式くりわなは高い捕獲効率 ・一般にくりわなの捕獲効率は、0.01~0.02と言われており、小林式は高い捕獲効率を示す ・短期間のわなの稼働で確実に捕獲 ・3箇所まで同一わな設置箇所における捕獲は5頭以上を確認 	

わな設置例



ススキ根株利用



流木利用



ロープ利用



灌木利用